

OR学会会長就任の挨拶

日本電気㈱特別顧問 水野 幸男



皆様方には平素 OR 学会の活動にご支援ご協力を賜り深く感謝いたしております。

さて、私こと このたび名誉ある OR 学会の会長に選出されました。刀根前会長をはじめ歴代の各会長は OR の発展に多くの優れた成果をあげてこられました。その後を襲い、十分にその職責を果たせますか不安を感じておりますが、皆様のご推挙を得て選ばれました以上、微力ではございますが OR 学会の発展のために専心努力をいたす所存であります。

現在、我が国ばかりでなく、世界の状況すなわち、学界、政界、官界、産業界では新しい時代へ向かって劇的な変化が起きております。このような時代には過去のルール、考え方、方法だけでは解決することが困難な多くの新しい問題が発生してきております。OR の歴史からも明らかなように、OR は本来過去になかったような新しい問題を解決して高い評価を得て参りました。このような意味で、現在は OR が最も必要とされる時代といえるのではないのでしょうか。

OR 学会にとって重要なことの一つは OR を現場で一層役立つものとし、その普及を促進することであると思います。そのためには、現場に存在する解決を必要とされている問題への積極的な挑戦が何よりも大切であると思います。現場の問題の中にはすでに開発された OR の手法により解き得る問題も多々あり、それらの問題を解決することも重要ではありますが、現場の問題の多くは既存の手法では必ずしも解決できない問題であります。

それらの問題に対してチャレンジ精神を燃やしながら、まずデータを集めることから始め、デー

タに聞くということが大切ではないかと思ひます。データの中に解が含まれていると思ひます。

現場への適用が必ずしも多くない理由の一つは代表的な OR の手法が適用できる問題のみを取り上げ、本当にその時点で解決が必要とされる問題への挑戦が少なかったのではないのでしょうか。

皆様と一緒に現場の OR 問題に対して挑戦して参りたいと思ひます。

次に、これからの OR にとって重要なことは IT (Information Technology) 技術との協調であります。データを集めるためにはネットワークを通して、各種類のデータベースへアクセスすることが必要であります。また、それらのデータを加工し、そのデータの意味する所を明確に捉えたり、最適解、あるいはそれに近い解を得るためにも IT 技術が必要であります。特に、OR 手法をソフトウェアパッケージ化した道具を効果的に利用することは今後ますます重要になると思われます。そのための国際交流を促進し、我が国の独創的な OR のソフトウェアパッケージが海外で活用されることを期待しております。また、IT 技術の利用の一環として OR 学会40周年記念事業として計画されている OR 学会のホームページをぜひ立ち上げて参りたいと存じます。ホームページにより学会と会員との心の交流が一層促進されることを心から期待いたします。

最後になりましたが、OR 学会の発展には会員の皆様のご協力ご支援が何よりも重要であります。特に、OR 学会の会員の確保、増強について一層のご協力をお願い申し上げまして新任のご挨拶とさせていただきます。